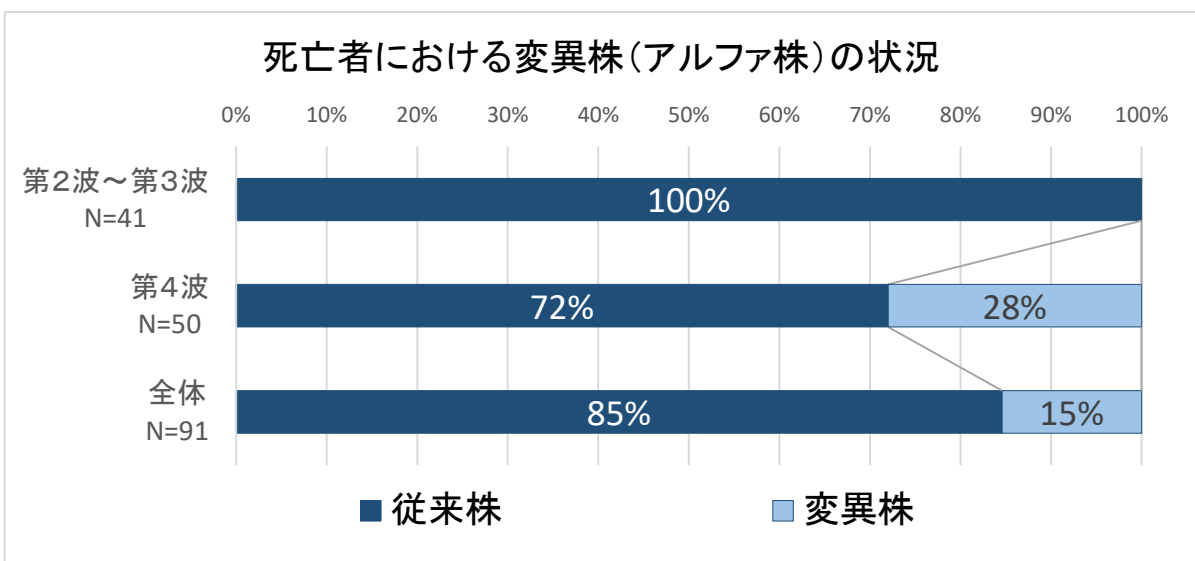
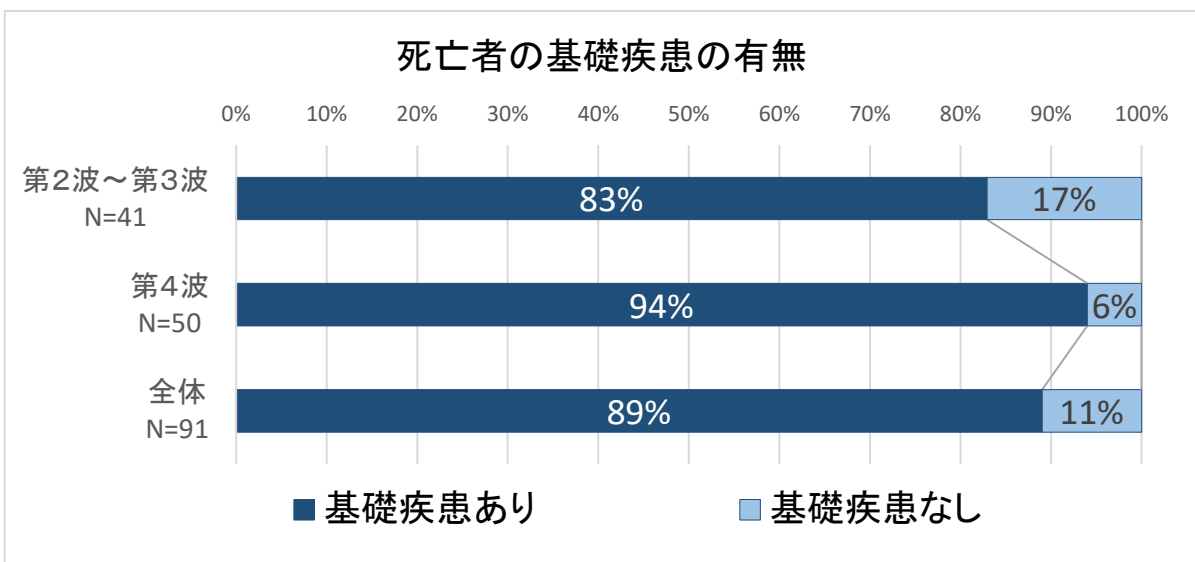
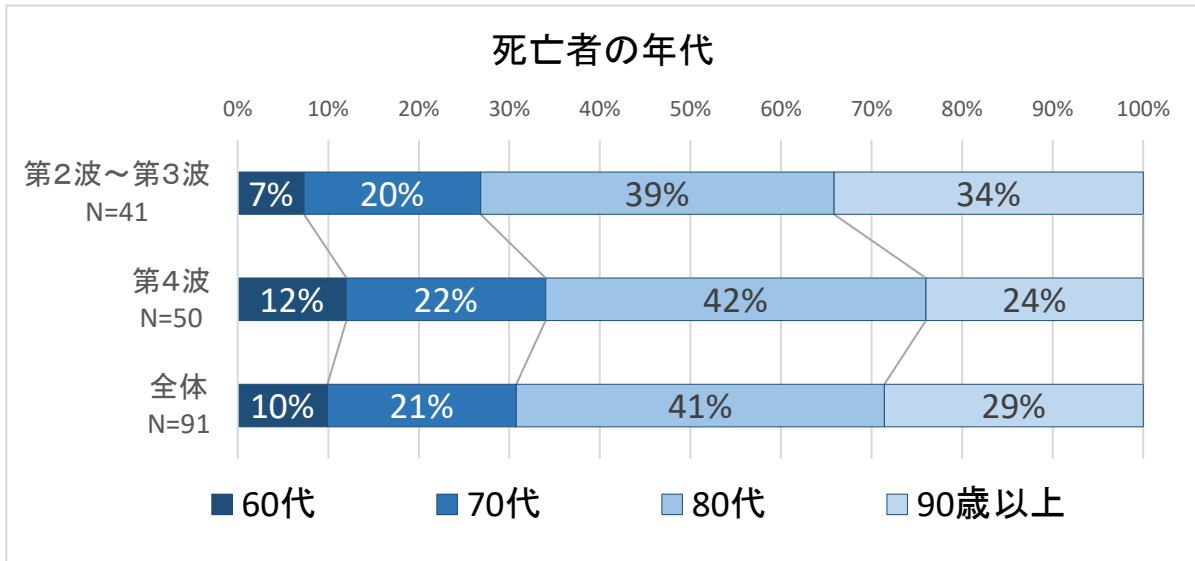
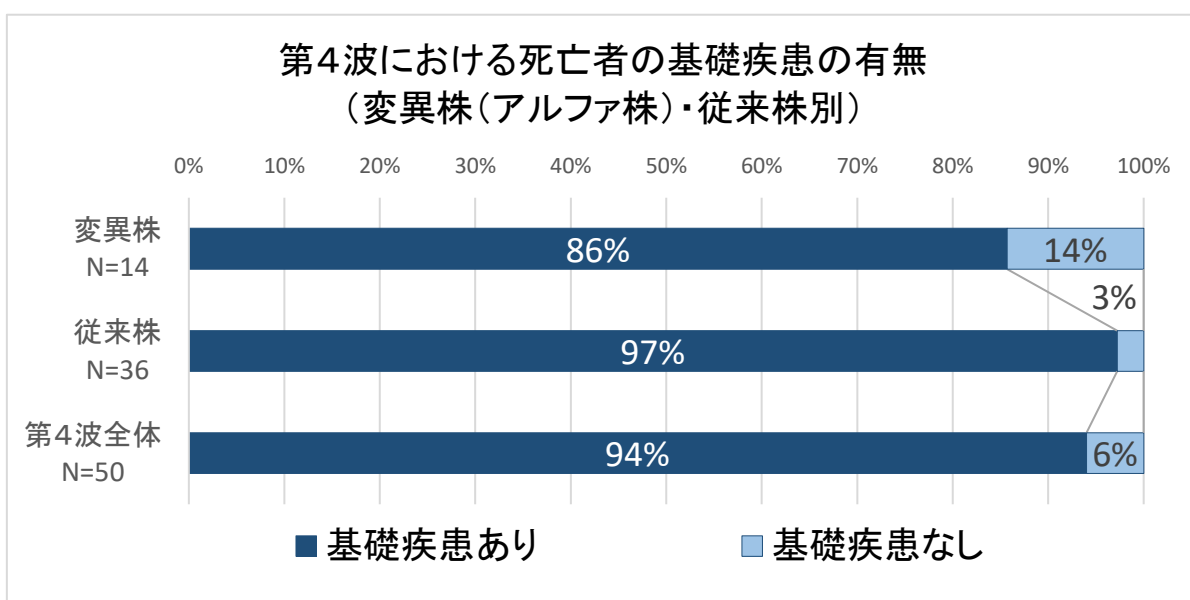
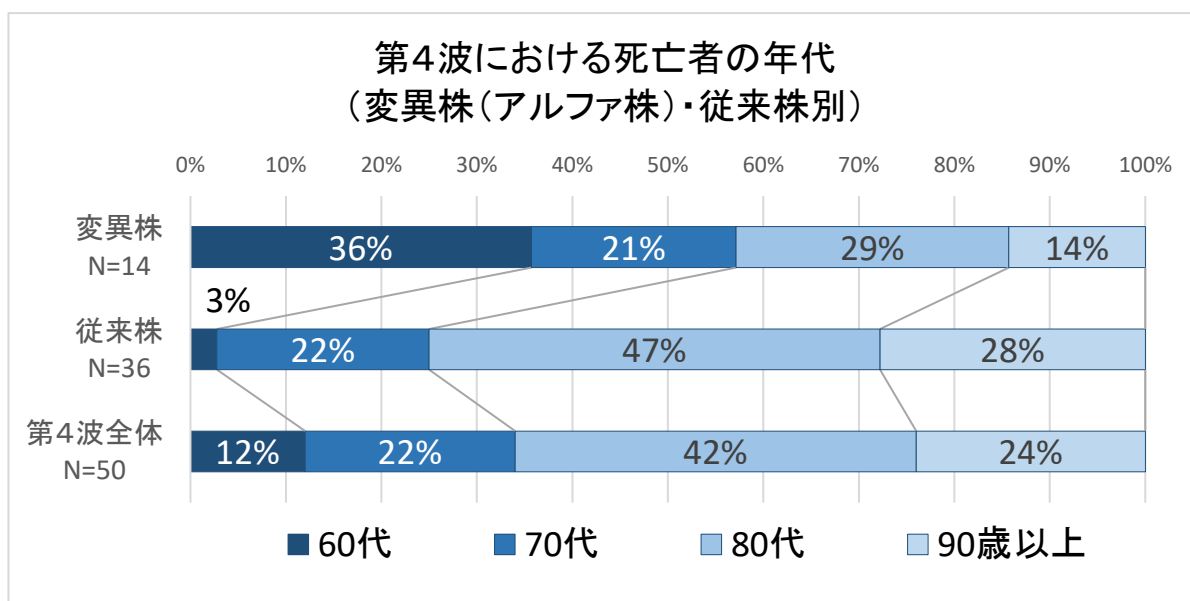


新型コロナウイルス感染症 県内死亡例のまとめ(91例)

(「新型コロナウイルス感染症に係る第4波の発生状況と対策の振り返り」(令和3年8月3日 新型コロナウイルス感染症長野県対策本部 公表資料)から抜粋)





※「新型コロナウイルス感染症に係る第4波の発生状況と対策の振り返り」P7より

また、第4波においては、3月1日から6月30日までの間に50人の死亡者を公表したが、陽性者数に占める死亡者数の割合は、第3波よりわずかに高くなっている(第3波:1.73%、第4波:1.87%)。

第4波における死亡者は、第2波及び第3波の死亡者に比べて90代以上の割合が減少した一方、60代から80代までの割合がそれぞれ増加しており、かつ、基礎疾患を有する者も第2波及び第3波までに比べて増加している。年代別では、60代及び70代の割合が、従来株では25%である一方、変異株(アルファ株)では57%と半数を超える状況となっている。

なお、死亡者のうち、基礎疾患を有しておらず、かつ65歳未満である者は、第2波及び第3波、第4波を通じて確認されなかった。